

様式第2号（6関係）

附属機関等の名称		会議概要
1	審議会名	第1回交流学习センター施設検討委員会
2	日 時	平成18年2月28日 午後7時00分から午後9時15分まで
3	会 場	明科子どもと大人の交流学习施設「ひまわり」 2階講義室
4	出席者	丸山委員、草深委員、中島委員、細野委員、松尾委員、中田委員、藤原委員、巻山委員、中嶋委員、細萱委員、小口委員、赤沼委員、曾根原委員、三枝委員、松田委員、益子委員、細川委員（まちづくり推進課長）、松枝委員（社会教育課長）
5	市側出席者	西山助役、望月教育長、小林教育次長、三澤教育課長、竹田教育課長補佐、高原生涯学習係長、丸山生涯学習係長、原野生涯学習係長、高橋生涯学習係長、宮澤児童係長、堀内福祉係長、財津主査、塩原主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 3人
8	会議概要作成年月日	平成18年3月3日
協 議 事 項 等		
1. 会議の概要 （1）開会 （2）あいさつ （西山助役） （3）経過説明 （事務局より検討委員会の委員構成について説明） （4）委嘱書の交付 （望月教育長） （5）自己紹介 （委員及び事務局員） （6）安曇野市交流学习センター施設検討委員会設置要綱の確認 （事務局より説明） （7）会長、副会長の互選（会長：益子委員、副会長：草深委員） 会長、副会長あいさつ （8）協議 （9）閉会 2. 協議概要 ① 会議の進行に係る基本事項の確認（益子会長） - 多くの意見をいただきたいので、簡略に分かりやすく発言を。 - 今後の会議も夜7時～9時で開催するので協力を。 ② 事業実施に係る市方針の説明（事務局より説明） - 図書館を核とした“交流学习センター”という仮称で進める。 - 合併以後、旧3町村の建設計画を継承している。 - それぞれを検証した結果の問題点として、3つの計画が安曇野市の視点としての位置づけがなされていないという点、機能的に不要と思われる施設・設備があるという点、必要であっても、その規模が必要かという点がある。 - 今後の基本方針としては、3施設が必要か不要かのゼロからの議論は避けたい。 3地域の計画はいずれも地域の事情を考え真摯な研究検討結果に基づいたものであるので、新市においても基本的に尊重すべきものとして考える。 - ただし、全市的な立場で施設の位置づけを明確にしなくてはならない。		

- ・ このため全市的に考える検討委員会を設置。
- ・ 全体の動きとしては、10月に旧3町村より持ち込まれた計画をもとに、11月に今後の取り組み方針を定め、旧3町村の委員と行政担当との懇談会も開催してきた。2月に適正規模への調整、市全体としての議論をするための検討委員会を設置し、十分な検討を行い、18年度9月頃に安曇野市交流学习センター建設構想の全市的合意の形成をしたい。議会に諮り10月以降実施設計に入りたい予定としている。

③ 市方針に対する質疑・応答

(委員)

- ・ 三地域の計画のこれまでの経緯について各地域の委員より説明。
- ・ 各地域の悲願とも言える事業なのでほぼ計画通り実施してほしいとの意見。
- ・ 三地域の経過説明をうけて協議。
- ・ 持ち寄った基金だけでは当初の計画は出来ず、合併特例債がどのくらい確保出来るかによっても規模が変わる可能性もある。市民ホールのように誰もが利用できる大きなものをつくり、各地域では既存のものを改修などして利用した方が良いのではないか。地域よりも一人一人が平等という考えでなければいけない。
- ・ 市民9万人が一体となる施設を考えなければならないが、旧町村で精査して出した計画であり考慮する必要がある。
- ・ 50億円かかる事業であり、建設後も維持管理費がかかる。既存のものを活用する方法はないのか。人口が10万人規模の他の市はどうか勉強する必要がある。
- ・ 既存の図書館は蔵書数が少ない。また、各館ごと特色を持たせることも必要。

(事務局)

- ・ 色々な施設を見てみたいという希望も今後検討したい。
- ・ 今後の会議には、施設の維持管理費等の必要な資料も揃えておきたい。

④ 次回会議開催について(益子委員長)

- ・ 次回は、3月14日(火)午後7時から開催予定。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に総務部行政改革推進室へ提出してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。